

キャラクター名
オヒア・レファ

プレイヤー名

シンドローム	エグザイル サラマンダー		ワークス	FHチルドレンA	カヴァー	小学生
	オプション		年齢	10歳	性別	女
覚醒	生誕	衝動	解放	初期侵食率	37%	
出自	名家の生まれ	経験	夢	邂逅	知識の探求	

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	37
肉体	4	1	3			8	行動値	3
感覚	1		0			1	(非装備時)	3
精神	1		0			1	戦闘移動	8
社会	2		0			2	全力移動	16

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	11		射撃			RC	1		交渉		
回避	1		知覚			意志			調達		
運転:			芸術:			知識:			情報: 知識	1	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
ツツカ	白兵	8r+6	8	16		行動-5、命中前に侵食+2で攻+【肉体】

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	
ウェポンケース	
コネ: ロンギヌス (FH) 幹部	

合計装甲: 0 合計回避: 0

ロイス			
対象	感情(pos)	感情(neg)	消費
Dロイス: 装着者P		N	
Sロイス: 神との邂逅P	好意	N 憎悪	
父親	P 執着	N 憐憫	
フェイス・カウンター (ISユニット)	P 有為	N 憤懣	
	P	N	
	P	N	
	P	N	

最大財産P: 4 残り財産P: 2

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果: 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果: コスト分のHPで復活								
コンソレイト: 火蜥蜴	3	2	Xジャー	-	-	シールド	-	
効果: C値を-Lv (最低7)								
炎神の怒り	1	3	M/リ	-	-	【肉体】	-	
効果: 判定D+「Lv+1」。HP3消費								
異世界の因子	★	5	オート	視界	効参	自動	80↑	
効果: エフェクトをコピーする。シリア								
命の剣	★	3	Xジャー	武器	-	白兵	100↑	
効果: 攻撃力+【肉体】								
氷熱の軍団	5	10	イニア	視界	シーン選	-	120↑	
効果: ラウンド間、攻+Lv×4。シリア								
炎の理	★	-	Xジャー	至近	効参	自動	-	
効果: 炎を作り出す (ダメージ不可)								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								

【プロフィール】
秘密結社ロンギヌス。
“スフィア”に存在する言語で正確な発音は不可能なため、意識を当てこぼされている組織は『神殺し』を最終目標とした魔導師集団である。しかし侮ってはいけない。彼らは拝み屋のようなオカルティストとは一線を画した存在だ。
ひとによって神の定義はさまざまであるが、彼らの場合は宇宙が誕生するまえの『無』を『有』に変え万物を創世した『創造主』と定義している。そして理論上ビッグバンに至る、無が有へと変じる揺らぎの一点に飛ぶことができたのなら、創造主は確実にそこにいる、あるいは『ある』はず。
彼らの目的はつまるところ其処に至り、万物を創造する何らかを支配下におさめることなのだ。現在あまたの世界が存在し未来にはすべから崩壊し、過去には世界が生まれる前の無の時間軸が存在する以上、この根源とも呼べる座標は宗教というより数学的見地に基づいて確かに存在することになる。
ロンギヌスは既に観測と計算によって根源へと至る魔法式の基礎理論構築を成し遂げているが、計算式が形になったからこそ明確に立ちあはだかる、術式起動に必要な魔力の絶対的欠如という足止めを喰らっている。その量は文字通りの天文学的数値であり、世界ひとつを薪代わりにくべたところで足りるか怪しい。
彼らが少しでも魔力を集めようと取る手段は往々にして無差別テロと呼ばれるものであり、また万が一その最終目標が成功すれば世界が崩壊しかねない危険があることから、時空管理局は彼らを界際犯罪組織として指名手配にしている。

さて、ロンギヌスという集団の目標は神殺しであるが、メンバー個々人の目的となるとまた話が変わる。ある者は全世界の支配者となることを求め、ある者は神と呼ばれるほどの強者との戦闘を夢想し、またある者は創世を無かったことにしたあとの静寂を求めて、その欲望は千差万別と言ってもよい。
オヒア・レファという少女にとって、自身がロンギヌスに所属する動機は「神との邂逅」であった。
彼女は誕生時に炎の魔力変換質制御が暴走して母親を焼き殺し、妻を喪った父親に捨てられて以来ロンギヌスに所属している。彼女は神様とやがらいるのなら、聞いてみたいのだ。
『本当にこのような世界でよかったのですか?』と。
スフィアに伝わる神話曰く、神とやはらはたった七日の突貫工事で天地を創造したらしい。なるほど、徹夜続きの深夜テンションで作成したにふさわしいポンコツな世界だ。それでも神はいったのだ。「これでいい。この世界は美しい」なんて。
私もその美しい世界の一つなのかと。彼女は確かめたいのだ。